

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成26年7月24日 (2014.7.24)

【公表番号】特表2013-520311(P2013-520311A)

【公表日】平成25年6月6日 (2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2012-554458(P2012-554458)

【国際特許分類】

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

B 0 1 J 23/44 (2006.01)

B 0 1 J 35/04 (2006.01)

F 0 1 N 3/022 (2006.01)

F 0 1 N 3/023 (2006.01)

F 0 1 N 3/035 (2006.01)

F 0 1 N 3/025 (2006.01)

F 0 1 N 3/029 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

F 0 1 N 3/24 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 53/36 1 0 4 A

B 0 1 J 23/44 Z A B A

B 0 1 D 53/36 1 0 2 A

B 0 1 J 35/04 3 0 1 E

B 0 1 D 53/36 1 0 4 B

F 0 1 N 3/02 3 0 1 C

F 0 1 N 3/02 3 2 1 A

F 0 1 N 3/02 3 2 1 B

F 0 1 N 3/28 3 0 1 Q

F 0 1 N 3/24 E

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月9日 (2014.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

触媒化された煤フィルターであって、

壁流基材を有し、該壁流基材は、

入口端、及び出口端、前記入口端と前記出口端の間に延びる基材軸長さ、及び壁流フィルター基材の内壁によって規定された複数の通路を含み；

前記複数の通路は、開放した入口端と閉じた出口端を有する入口通路、及び閉じた入口端と開放した出口端を有する出口通路を有し；

前記入口通路の内部壁は、入口被覆部を有し、該入口被覆部は、前記入口端から入口被覆部端まで延び、これにより入口被覆部長さを規定し、及び該入口被覆部長さは、基材軸長さの  $x\%$  であり、そして  $0 < x \leq 80$  であり；

出口通路の内部壁は、出口被覆部を有し、該出口被覆部は、出口端から出口被覆部端まで延び、これにより出口被覆部長さを規定し、及び該出口被覆部長さは、基材軸長さの  $10$

0 - x %であり；

入口被覆部長さは、触媒化された煤フィルターの上流領域を規定しており、及び出口被覆部長さは触媒化された煤フィルターの下流領域を規定しており；

前記入口被覆部は、白金（Pt）を含む酸化触媒を含み；

出口被覆部は、Pdを含む酸化触媒を含み、前記出口被覆部のPt濃度は、入口被覆部中のPt濃度よりも低く、及び前記出口被覆部のPt：Pdの質量割合は、0：1～2：1の範囲であり；

前記入口被覆部と前記出口被覆部は、壁流基材上に、0.5～1.5の範囲の被覆積載割合で存在し、該被覆積載割合は、入口被覆部の積載量（ $\text{g/inch}^3$ （ $\text{g}/(2.54\text{cm})^3$ ））：出口被覆部の積載量（ $\text{g/inch}^3$ （ $\text{g}/(2.54\text{cm})^3$ ））の割合として計算される、ことを特徴とする触媒化された煤フィルター。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項25

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項25】

前記触媒化された煤フィルターが、DOCの下流に配置されていることを特徴とする請求項24に記載のシステム。